

環境報告書

活動期間

【2018年4月1日 ～ 2019年3月31日】



2019年4月1日



株式会社 司

1. 組織の概要

- (1) 事業所名 : 株式会社 司
- (2) 代表者氏名 : 代表取締役 松村亜矢子
- (3) 所在地 : 本社・事務所 三重県松阪市五主町1313番地
 中間処理施設 三重県津市一志町其倉170番地1
 積替え保管施設 三重県津市一志町其倉170番地1
- (4) 事業内容 : 解体工事業
 産業廃棄物収集運搬業
 産業廃棄物処分（中間処理）
- (5) 資本金 : 10,000千円
- (6) 沿革
- | | |
|----------|---|
| 平成2年2月 | 事業発展により個人組織より有限会社司清掃社法人化 |
| 平成2年9月 | 三重県産業廃棄物収集運搬業許可 |
| 平成4年2月 | 三重県一志郡三雲町五主町1313にて事業所所在地に本社移転 |
| 平成8年5月 | 三重県度会郡玉城町に伊勢営業所設立 |
| 平成11年5月 | 三重県特別産業廃棄物収集運搬業許可 |
| 平成11年7月 | 愛知県産業廃棄物収集運搬業許可
愛知県特別産業廃棄物収集運搬業許可 |
| 平成12年8月 | 三重県産業廃棄物処分業許可
三重県解体事業登録 |
| 平成13年2月 | 有限会社司清掃社から株式会社司へ組織変更 |
| 平成13年7月 | 岐阜県産業廃棄物収集運搬業許可
岐阜県特別産業廃棄物収集運搬業許可 |
| 平成15年6月 | 専務取締役松村亜矢子が退任し、代表取締役に就任 |
| 平成16年4月 | 三重県再生施設認定 |
| 平成17年8月 | 肥料登録（発酵肥料つかさ） |
| 平成20年4月 | 事業拡大に伴い津市一志町に津リサイクル工場完成 |
| 平成20年5月 | 奈良県産業廃棄物収集運搬業許可 |
| 平成20年6月 | 再生利用業個別指定許可 |
| 平成21年7月 | 滋賀県産業廃棄物収集運搬業許可
滋賀県特別産業廃棄物収集運搬業許可 |
| 平成21年10月 | 食品循環資源再生利用事業登録許可 |
| 平成23年7月 | 三重県版環境マネジメントシステム（M-MES）取得 |
| 平成23年7月 | 大台町 J-V E R 制度活用による事業者大台町クレジット購入契約締結 |
| 平成25年6月 | 使用済自動車取引業者登録 |
| 平成26年2月 | 三重県産業廃棄物収集運搬業優良認定取得
三重県特別管理産業廃棄物収集運搬業優良認定取得
三重県産業廃棄物処分業優良認定取得 |
| 平成30年7月 | 三重県産業廃棄物処分業追加（廃蛍光灯ランプに限る） |
- (7) 事業の規模 : 売上高 704,835千円(平成31年1月末日決算)
 従業員数 43名（パート等5名含む）
 本社・事務所 敷地面積 4,706.91㎡ 延床面積 369.25㎡
 中間処理施設 敷地面積 31,392.8㎡ 延床面積 1419.56㎡
 積替え保管 面積 1,814 ㎡ 保管上限 341.1㎡

(8) 許認可一覧と処理能力

1) 産業廃棄物収集運搬業 許可番号と品目

2019.4.1現在

収集運搬業				産業廃棄物																	
都道府県 政 令	許可番号	許可年月日	積替え 保管の 有無	燃え が ら	汚 泥	廃 油	廃 酸	廃 アル カリ	廃 プ ラ	紙 屑	木 屑	繊 維 屑	残 渣	動 植 物 性	ゴ ム 屑	金 属 屑	ガ ラ ス 屑 等	鉛 さ い	ガ レ キ 類	ト リ ノ コ 類	ば い じ ん 類
		有効期限																			
三重県	第02414020434号	2017年10月11日 2024年9月20日	有	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
愛知県	第02300020434号	2012年12月26日 2019年7月7日	無	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
岐阜県	第2100020434号	2011年7月23日 2021年7月22日	無	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
奈良県※1	第02900020434号	2013年5月14日 2023年5月13日	無		●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●				●
滋賀県	第02501020434号	2014年7月2日 2019年7月1日	無		●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●				●

収集運搬業				特別管理産業廃棄物			
都道府県 政 令	許可番号	許可年月日	積替え 保管の 有無	引 火 性 廃 油	廃 感 染 物 性	廃 酸	廃 アル カリ
		有効期限					
三重県	第02454020434号	2009年5月26日 2021年5月25日	無	●	●	●	●
愛知県	第02350020434号	2009年8月14日 2019年7月7日	無	●		●	●
岐阜県	第2150020434号	2011年7月23日 2021年7月22日	無	●	●	●	●
滋賀県	第02551020434号	2014年7月2日 2019年7月1日	無	●		●	●

2) 産業廃棄物処分業 許可番号と品目

処 分 業【中間処理】				産 業 廃 棄 物																
都道府県 政 令	許可番号	許可年月日	積替え 保管の 有無	燃えが ら	汚 泥	廃 油	廃 酸	廃 アルカリ	廃 プラ	紙 屑	木 屑	繊 維 屑	残 渣	動 植 物 性	ゴ ム 屑	金 属 屑	ガラス 屑等	鉛 さい	ガレ キ類	ばいじん 類
		有効期限																		
三重県	第2424020434号	2018年7月3日 2024年8月24日			●				●	●	●	●	●			●	●		●	

3) 処理能力[中間処理]

加熱固化	廃プラスチック類(発泡スチロールに限る、石棉含有産業廃棄物を除く、 水銀使用製品産業廃棄物を除く)	0.4 t/日 (8h)
破 砕 (A)	廃プラスチック類(石棉含有産業廃棄物を除く、水銀使用製品産業廃棄物を除く) 木くず (水銀使用製品産業廃棄物を除く) 金属くず (水銀使用製品産業廃棄物を除く)	4.4 t/日 (8h) 4.4 t/日 (8h) 4.9 t/日 (8h)
破 砕 (B)	廃プラスチック類(石棉含有産業廃棄物を除く、水銀使用製品産業廃棄物を除く) 紙くず (水銀使用製品産業廃棄物を除く) 木くず (水銀使用製品産業廃棄物を除く)	4.64 t/日 (8h) 3.12 t/日 (8h) 4.72 t/日 (8h)
破 砕 (C)	廃プラスチック類 (廃蛍光灯に限る、石棉含有産業廃棄物を除く)	0.168 t/日 (8h)
廃蛍光灯	ガラスくず (廃蛍光灯に限る、石棉含有産業廃棄物を除く) 金属くず (廃蛍光灯に限る) ※上記品目は、水銀使用製品産業廃棄物を含む	0.48 t/日 (8h) 1.68 t/日 (8h)
発 酵	汚泥・動植物性残さ (水銀使用製品産業廃棄物を除く)	10 t/日 (24h)
圧 縮	廃プラスチック類(石棉含有産業廃棄物を除く、水銀使用製品産業廃棄物を除く) 金属くず (水銀使用製品産業廃棄物を除く)	2.8 t/日 (8h) 5.6 t/日 (8h)
選 別	廃プラスチック類(石棉含有産業廃棄物を除く、水銀使用製品産業廃棄物を除く)	132 m/日 (8h)

他6種類

4) 一般廃棄物収集運搬業 許可番号および許可期限					
市町村	事業の区分（主たる業務）	許可年月日	許可番号	許可期限	備考欄
四日市市	一般廃棄物収集運搬業	2018年4月1日	第206号	2020年3月31日	
鈴鹿市	一般廃棄物収集運搬業	2018年4月1日	第45号	2020年3月31日	
津市	一般廃棄物収集運搬業	2018年4月1日	第95号	2020年3月31日	
松阪市	一般廃棄物収集運搬業	2017年7月1日	第11号	2019年6月30日	
多気町	一般廃棄物収集運搬業	2018年4月1日	多収第2号	2020年3月31日	
大台町	一般廃棄物収集運搬業	2017年1月23日	平成28年第7号	2021年1月22日	
伊勢市	一般廃棄物収集運搬業	2018年4月1日	29清 第1263号	2020年3月31日	
明和町	一般廃棄物収集運搬業	2018年4月1日	平成30年 第2号	2020年3月31日	
玉城町	一般廃棄物収集運搬業	2017年4月1日	玉城町認可	2021年3月31日	
5) その他登録許可および許可期限					
所轄	名 称	登録/許可年月日	登録番号	許可期限	備考欄
三重県	計量証明事業	2008年9月24日	第278号	—	津市一志町其倉170-1
三重県	特殊肥料生産業者登録	2009年3月3日	届出第929号	—	
三重県	一般廃棄物処理施設設置	2009年3月24日	津農環第83-1号	—	
三重県	肥料販売業務登録	2009年4月9日	届出第400号	—	
三重県公安	古物商許可	2009年7月23日	第551230078000号	—	
三重県	解体工事業登録	2012年4月18日	三重県知事(登-24) 第5-7号	2022年4月17日	
農林水産・環境	再生利用事業登録	2014年10月2日	24 - 10 - 1	2019年10月1日	肥料化事業

(9) 取扱い一般廃棄物並びに産業廃棄物（事業規模）

1) 収集運搬実績（一般廃棄物・産業廃棄物）と運搬車両（施設）の種類・台数

・収集運搬量実績

収集運搬実績	単位	2016年度	2017年度	2018年度
一般廃棄物収集運搬量	t	8,532	7,058	6,535
産業廃棄物収集運搬量	t	8,154	9,401	9,629
特別管理廃棄物収集運搬量	t	0	0	0

※特別管理産業廃棄物の許可はありますが、実績はありません。

・運搬車両の種類と台数

車両の種類	最大積載量	台数	車両の種類	最大積載量	台数
塵芥車（パッカー）	1,500～2,750 k g	7台 ※一廃	3tﾌﾞｰﾑ車(脱着装置付 ｺﾝﾃﾅｰ専用車)	3,000 k g	3台
塵芥車（パッカー）	1,500～2,750 k g	5台 ※産廃	4tﾌﾞｰﾑ車(ｸﾚｰﾝ付含)	2,400～3,600 k g	3台
2 tﾄﾗｯｸ	2,000 k g	3台	大型ﾌﾞｰﾑ車(ｸﾚｰﾝ付含)	6,900～7,900kg	3台
4 tｳｨﾝｸﾞ車	2,050 k g	2台	ｴﾛｰﾄﾞ付ﾄﾗｯｸ車	2,600～3,300 k g	2台 (3 t/4 t)
10 tｳｨﾝｸﾞ車	13,600 k	1台	吸引(ｸﾞﾗﾝﾎﾟｰ)車	2,930kg	1台

※市町(一般廃棄物)・各県(産業廃棄物) 重複にて申請車両あり。

・中間処理実績

処理実績	単位	2016年度	2017年度	2018年度
破碎	t	1,493	1,788	2,083
加熱固化	t	29	46	50
発酵	t	410	455	194
選別	t	1,277	2,477	4,219
圧縮	t	56	132	565
合 計	t	3,265	4,898	7,111

・積替え保管施設場所 種類・保管条件

積替え保管場所

場所 : 三重県津市一志町其倉字岩ヶ谷170番1

面積 : 1,814 m²

種類 : 廃プラスチック類 (石綿含有産業廃棄物を含む)、金属くず、

ガラスくず等(石綿含有産業廃棄物を含む)

(上記品目は、水銀使用製品産業廃棄物を含む)

紙くず、木くず、繊維くず、がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む)

保管上限 : 341.1 m³

・処理施設

中間 処 理 施 設	加熱固化施設	ハイムター R E - E X 501	廃プラ（発泡スチロールに限る）		
	破碎（A）施設	一軸破碎機 U S 75	廃プラ	木くず	金属くず
	破碎（B）施設	破碎機 B R 2001	廃プラ	木くず	紙くず
	破碎（C）施設	CFR型廃蛍光灯クラッシャー	廃プラ	金属くず	ガラスくず等
	発酵施設	S M K - 5000型	汚泥・動植物性残渣		
	圧縮施設	カンプレッサー	廃プラ	金属くず	
	選別施設	磁選機・コンベアー	廃プラ・紙くず・木くず・金属くず・ガラスくず・ 繊維くず・がれき類 以上7種類		
重機	油圧ショベル ビートル SK30SR－5		—		西日本コベルコ建機(株)
	住友（SH125）		—		住友建機(株)
フォークリフト	トヨタエンジンフォークリフト50-8FD25		最大荷重 2, 5 0 0 kg		トヨタL&F中部（株）
	トヨタエンジンフォークリフト52-8FD30		最大荷重 1, 8 0 0 kg		
	トヨタエンジンフォークリフト52-8FD30		最大荷重 1, 8 0 0 kg		
	トヨタエンジンフォークリフト		最大荷重 2, 0 5 0 kg		

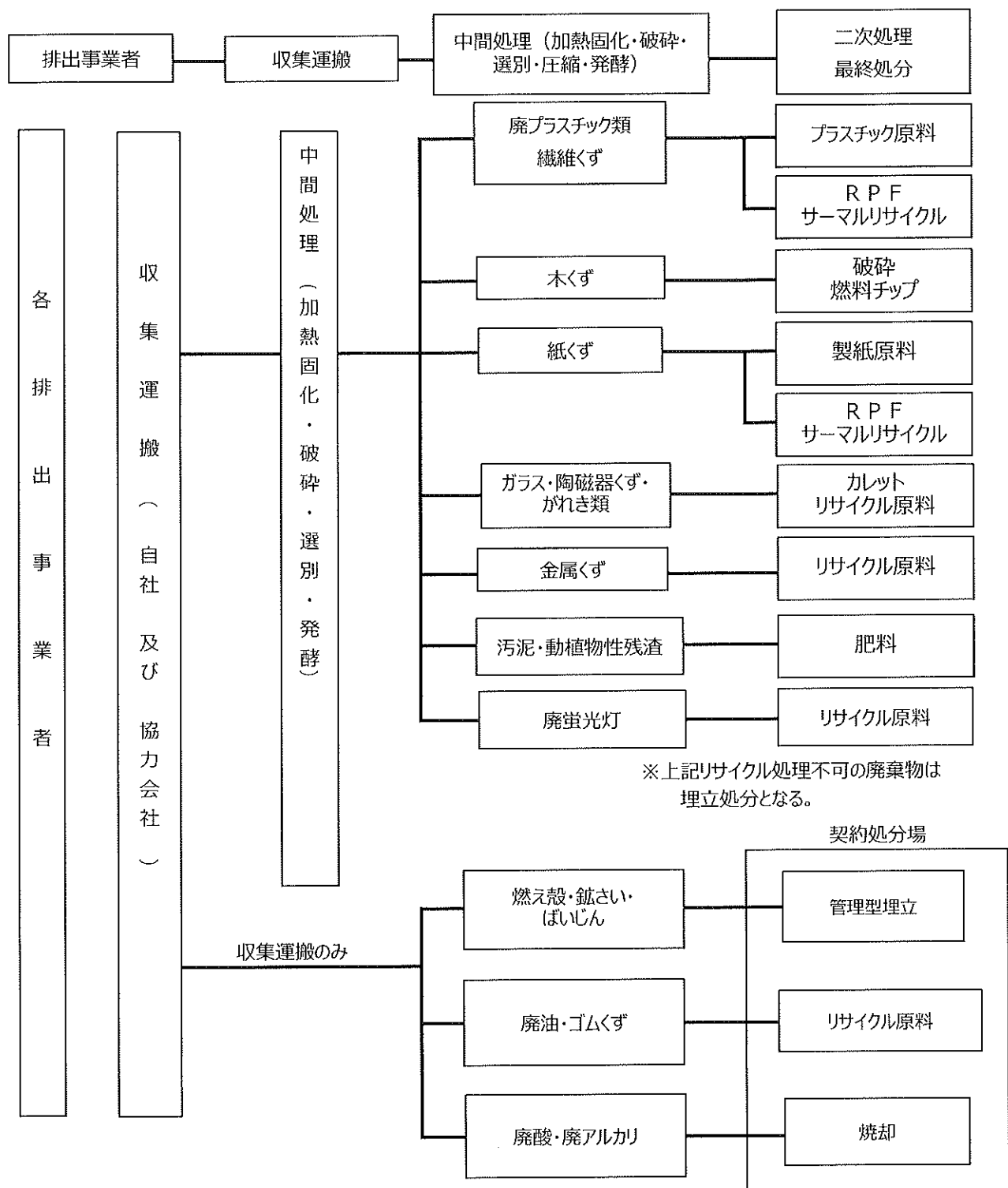
・処理能力

中間 処 理 施 設	加熱固化施設	廃プラ (発泡スチロールに限る)	0.4 t / 日(8 h)
	破碎 (A) 施設	廃プラ	4.4 t / 日(8 h)
		木くず	4.4 t / 日(8 h)
		金属くず	4.9 t / 日(8 h)
	破碎 (B) 施設	廃プラ	4.64 t / 日(8 h)
		紙くず	3.12 t / 日(8 h)
		木くず	4.72 t / 日(8 h)
	破碎 (C) 施設 (廃蛍光灯)	廃プラスチック類 (廃蛍光灯に限る)	0.168 t / 日(8 h)
		ガラスくず (廃蛍光灯に限る)	0.48 t / 日(8 h)
		金属くず (廃蛍光灯に限る)	1.68 t / 日(8 h)
	発酵施設	汚泥・動植物性残渣	10 t / 日(24 h)
	圧縮施設	廃プラ	2.8 / 日(8 h)
		金属くず	5.6 t / 日(8 h)
	選別施設	—	132m ³ / 日(8 h)

処理工程図

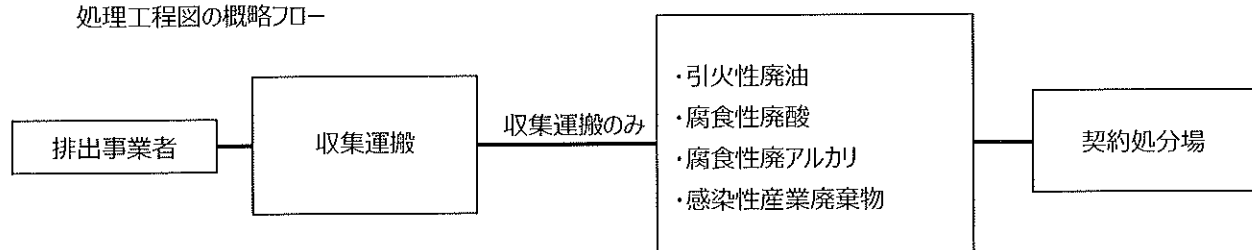
【産業廃棄物】

処理工程図の概略フロー



【特別管理産業廃棄物】

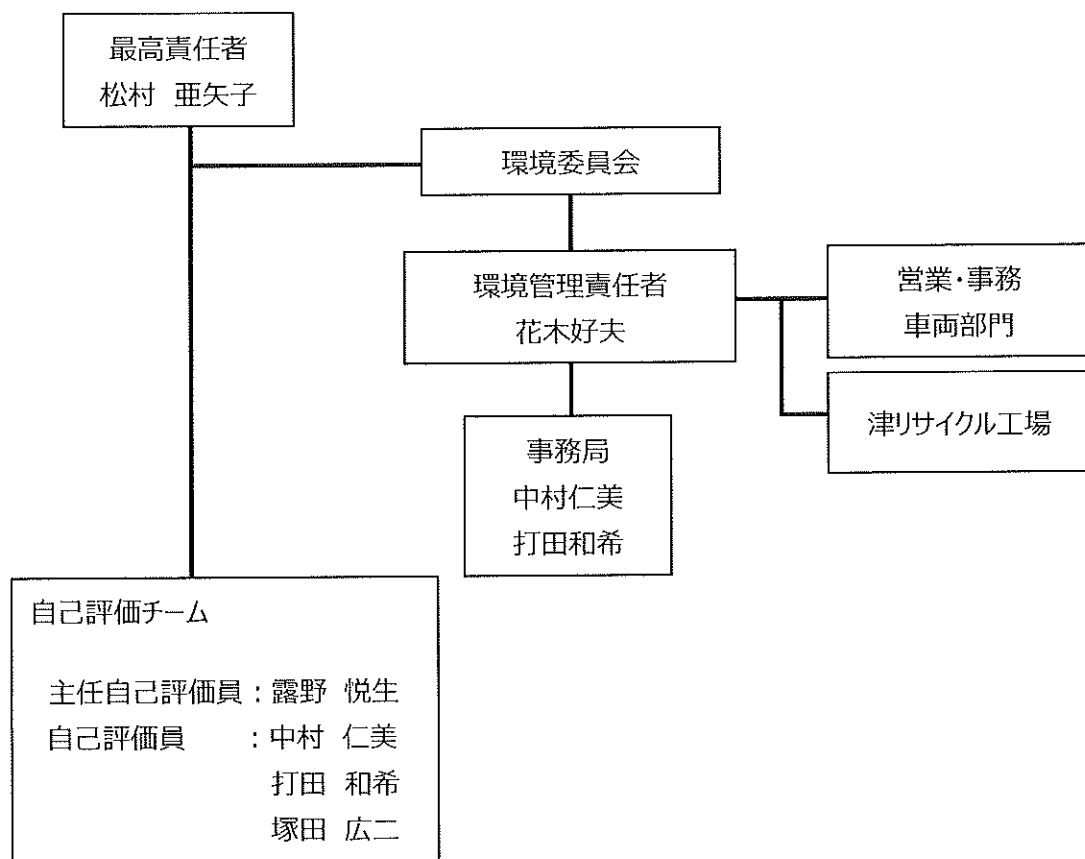
処理工程図の概略フロー



(10) 廃棄物の処理料金

運搬距離・廃棄物内容・回収形態等により、都度見積りをおこなう。

(11) 環境活動の取組体制



環境管理責任者：花木 好夫

担当者連絡先：中村 仁美 本社 TEL：0598-56-6153 FAX:0598-56-4889
打田 和希 津リサイクル工場 TEL：059-254-6655 FAX：059-259-2228

2. 登録対象

(1) 登録内容

M-EMS 登録証

登録日：2011年 7月 1日 (S2)

登録期限：2019年 6月30日

登録番号：M-EMS2W-0006 KES2W-5-0006

(2) 登録範囲

一般廃棄物・産業廃棄物の収集運搬業及び、産業廃棄物処分業（中間処理）に係わる全ての事業活動

(3) 対象事業所

本社・事務所 三重県松阪市五主町 1 3 1 3 番地

中間処理施設 三重県津市其倉 1 7 0 - 1 番地（津リサイクル工場）
（積替え保管場所含む）

3. 環境宣言

環 境 宣 言

基本理念

株式会社 司は、「可能な限り資源を循環させ、環境と共に生きる道を見出すこと」を使命と考え、人類共通の最重要課題の一つである地球環境の保全を推進し、全組織を挙げて環境負荷の低減及び環境保護に努力します。

方 針

株式会社 司は、一般廃棄物・産業廃棄物の収集運搬業及び産業廃棄物処分業の全ての活動に係わる環境負荷の低減及び環境保護をするために、次の方針に基づき環境マネジメント活動を推進して地球環境との調和を目指します。

1. 当社の活動に係わる環境影響を常に認識し、環境汚染の予防及び環境保護を推進するとともに、環境マネジメント活動の継続的改善を図ります。
2. 当社の活動、製品及びサービスに係わる環境関連法令、その他の要求事項を順守します。
3. 当社の活動、製品及びサービスに係わる環境影響の内、以下の5項目を環境管理重点テーマとして取り組みます。
 - (1) 環境保全の為の取組（カーボンオフセット[CO2削減]の推進）
 - (2) 本社・工場周辺の清掃と社会貢献の推進（地域の行事参加協賛等）
 - (3) グリーン調達（事務用品のグリーン購入推進）
 - (4) リサイクル率の推進（社内策定率）
 - (5) 環境意識の向上と環境教育の推進
4. 一人ひとりが環境負荷低減活動を積極的に実践できるように、この環境宣言を全従業員に周知するとともに一般の人々が入手できるようにします。
5. 三重県および松阪市・津市の環境改善活動に積極的に参画します。

上記の方針達成のために、目標を設定し、定期的に見直し、環境マネジメントシステムを推進します。

制定日 2011年2月1日

改訂日 2017年2月1日

株式会社 司
代表取締役 松村亜矢子

4. 環境改善目標

・環境負荷の実績及び3年間の中期環境改善目標
(基準年度: 2015年度)

No	環境改善目標	(基準年度)	単位		2016年度	2017年度	2018年度
	(中長期)	2015年度実績					
1	カーボンオフセットの推進 (3箇年継続しての実施)	無効化量 *1 4 t (CO ₂)	無効化 t (CO ₂)	目標	無効化4 t	無効化4 t	無効化4 t
				実績	無効化4.98 t	無効化3.87 t	無効化3.57 t
2	事務所・工場周辺及び使用 施設の清掃(偶数月) 12回	清掃回数 12回 (偶数月・2拠点)	回/年	目標	清掃14回	清掃14回 協賛他5件	清掃14回 協賛他5件
	工場全体清掃 2回	清掃回数 2回/年		実績	清掃14回	清掃14回 協賛他5件	清掃14回 協賛他5件
	地域行事参加及び協賛等の 年間5件実施 (2017年度～)	—					
3	廃棄物リサイクルの推進 リサイクル率: 40%	自社策定リサイクル率	%	目標	基準年比±0	基準年度比 2.4%増	基準年度比 2.4%増
					37.6%	40.0%	40.0%
				実績	41.6%	41.8%	46.1%
4	グリーン調達 EPC商品調査後の購入実施率 100% (2017年度～)	実施率100%		目標	—	100%	100%
				実績	—	100%	100%
5	環境講習会の実施 年4回 緊急連絡訓練及び防災訓練 各年1回	講習会(指定月)	回	目標	6回/年	6回/年	6回/年
		訓練(指定月)		実績	6回	6回	6回

*1 無効化量 (CO₂ (t)) = リサイクルステーションでの資源回収量 (t) × 0.006

※2019年度より環境改善目標が変更となる。

・管理項目での実績

No	管理項目	具体的施策	項目 単位	2016年度		2017年度		2018年度	
				実績値	CO ₂ 排出量	実績値	CO ₂ 排出量	実績値	CO ₂ 排出量
1	電力使用量	・設備の休止時電源オフ推進 ・未使用時・休憩時の消灯推進	使用量 kWh	201253.0	110890.4	172,514.0	95,055.2	135,332.0	74,567.9
2	ガソリン・軽油(燃料) 使用量	・アイドリングストップの推進 ・エコドライブの推進	使用量 ℓ	225671.2	580441.5	237,353.8	619,950.5	235,621.6	606,483.5
3	水の使用量削減	・洗車時の節水励行 (水の出しっぱなしの排除)	使用量 m ³	632.2	—	748.1	—	819.4	—
	※津リサイクル工場は洗車等に 井戸水を使用	二酸化炭素排出量 kg-CO ₂ /年		691331.9		715,005.8		681,051.4	

排出係数: 電力 0.551kg-CO₂/kWh ガソリン 2.32 kg-CO₂/L 軽油 2.58 kg-CO₂/L

出典: 2014年(平成26年)環境庁より

【根拠条文】算定省令第2条第3項、第4条第1項、別表第1及び別表第5

なお総排出量(水の使用量)は、生活排水のみのため、また、電力使用量・ガソリン・軽油使用量については、

処理量増加による増加変動が見込めるため、改善目標から除外し、維持管理項目とする。

化学物質においては、その使用実績がありません。

※環境改善目標及び管理項目での実績において2016年度・2017年度は2月～1月。2018年度は4月～3月とする。

5.環境改善目標と実績

2018年環境活動実績

No	環境改善目標	具体的方策	目標値	実績値	評価
1	カーボンオフセットの推進 (3箇年継続しての実施)	無効化量 *1 / 4 t (CO ₂)	無効化4 t ※2017.10月 3.64 tに変更	無効化3.57 t	A
2	事務所・工場周辺及び使用 施設の清掃(偶数月) 12回	清掃回数 12回 (偶数月・2拠点)	清掃14回 協賛他5件	清掃14回 協賛他5件	A
	工場全体清掃 2回	清掃回数 2回/年			
	地域行事参加及び協賛等の 年間5件実施 (2017年度～)	—			
3	廃棄物リサイクルの推進 リサイクル率：40%	自社策定リサイクル率 40.0%	40.0%	46.1%	A
4	グリーン調達 エコ商品調査後の購入実施率 100% (2017年度～)	実施率100%		100%	A
5	環境講習会の実施 年4回 緊急連絡訓練及び防災訓練 各年1回	講習会 (指定月) 訓練 (指定月)	6回/年	6回/年	A

*1 無効化量 (CO₂ (t)) = リサイクルステーションでの資源回収量 (t) × 0.006

管理項目での実績

No	管理項目	具体的施策	項目 単位	2016年度		2017年度		2018年度	
				実績値	CO ₂ 排出量	実績値	CO ₂ 排出量	実績値	CO ₂ 排出量
1	電力使用量	・設備の休止時電源オフ推進 ・未使用時・休憩時の消灯推進	使用量 kWh	201253.0	110890.4	172,514.0	95,055.2	135,332.0	74,567.9
2	ガソリン・軽油 (燃料) 使用量	・アイドリングストップの推進 ・エコドライブの推進	使用量 ℓ	225671.2	580441.5	237,353.8	619,950.5	235,621.6	606,483.5
3	水の使用量削減	・洗車時の節水励行 (水の出っぱなしの排除)	使用量 m ³	632.2	—	748.1	—	819.4	—
※津リサイクル工場は洗車等に 井戸水を使用		二酸化炭素排出量		691331.9		715,005.8		681,051.4	

排出係数：電力 0.551kg-CO₂/kWh ガソリン 2.32 kg-CO₂/L 軽油 2.58 kg-CO₂/L

出典：2014 年 (H26 年) 環境庁より

【根拠条文】算定省令第2条第3項、第4条第1項、別表第1及び別表第5

なお総排出量 (水の使用量) は、生活排水のみのため、また、電力使用量・ガソリン・軽油使用量については、

処理量増加による増加変動が見込めるため、改善目標から除外し、維持管理項目とする。

化学物質においては、その使用実績がありません。

※環境改善目標及び管理項目での実績において2016年度・2017年度は2月～1月、2018年度は4月～3月とする。

5. 1 具体的環境活動の評価

今期はカーボンオフセットの数値算出方法が変更になるなどの影響により目標達成が難しくなったため、8月より目標値を変更して取り組むこととなった。

苦戦を強いられた分、従業員による声かけや地域活動への参加を積極的に行い、エコステーションへの持込を促進する努力を行った。

その結果、4tという当初の変更前目標には及ばなかったものの、3.57tと変更後の目標値を上回る結果を残すことが出来た。

啓発活動・研修については従業員のリーダーシップを育てる為、代表者による研修参加を実施した後部署ごとに代表者が講師となって同内容の研修を開催する制度を取り入れた。

そうすることにより部署内での意見交換も増え、ミーンス活動への参加意識も高まった。

今後も様々な活動の中で工夫を凝らし、従業員一人一人のミーンスへの取り組みを強化していきたい。

5. 2 2019年の活動についての今後の課題

2019年度より環境改善目標が変更となり、環境保全推進のために必要な目標を検討していく。

2019年度は電気使用量削減の環境改善目標へ組み込み、削減に取り組む必要性があると思う。

6. 環境関連法規の順守状況

当社の事業活動に制約を受ける環境関連法規制等については、順守状況を定期的に確認し、評価の結果、違反はなかった。また関連機関等からの違反の指摘・苦情・訴訟はなかった。

7. 代表者による全体の評価見直し結果

7. 1 全体評価

今回の環境活動目標について社員一丸となって目標達成を成し遂げることができた。

カーボンオフセットについては目標値修正を行う等苦戦を強いられたが、声掛けや地域活動への参加を行う等社内一丸となって取り組むことができた。

分別リサイクル推進に関しても搬入量の減少などにより苦戦する場面もあったが、顧客への分別指導や社内での分別の意識をより一層高め、目標を達成する事ができた。

啓発活動においても従業員が積極的に参加できるよう工夫し、ミーンスへの意識がより高まったと感じている。

2018年度は今まで活動してきた改善点を踏まえ、社内一丸となって取り組むことを意識してきた結果、目標達成に繋がったと考えられる。

7. 1 見直し評価

・2019年度は電力使用量削減を目標値に組み込む。

産業廃棄物 処理実績表 (2018年度)

収集運搬量/持込量	
-----------	--

種 類	収集運搬量 (t)
廃プラスチック	3,218
紙くず	36
木くず	1,644
繊維くず	0
金属くず	2,104
ガラスくず等	165
燃えがら	2
汚泥	826
廃油	131
廃アルカリ	0
動植物性残渣	1,097
ゴムくず	0
鉱さい	0
ばいじん	0
廃酸	102
がれき類	284
混合廃棄物	20
合計	9,629
持込量	588

総合計取扱量	10,217
--------	--------

処分量	
-----	--

種 類	自社処分量 (t)
廃プラスチック	2,607
紙くず	38
木くず	1,797
繊維くず	4
金属くず	2,247
ガラスくず等	145
汚泥	22
動植物性残渣	172
がれき類	79
合計	7,111
直接契約処分場搬入	3,106

自社処分量 (中間処理)	
--------------	--

処分方法 種類	処分量 (t)
破 砕 廃プラスチック・紙くず・木くず・金属くず	2,083
加熱固化 廃プラスチック (発泡に限る)	50
発 酵 汚泥・動植物性残渣	194
選 別 廃プラスチック・紙くず・木くず・金属くず 繊維くず・ガラスくず等・がれき類	4,219
圧 縮 廃プラスチック・金属くず	565
合計	7,111

【内訳 (t)】

リサイクル (再資源化)	
発酵 (堆肥)	19
プラスチック原材料	56
金属原料	2247
合計	2322

司排出二次処理 (二次マニフェスト)	
リサイクル (RPF、燃料チップ他)	3175
その他二次処理 (破碎、選別、焼却等)	507
最終処分場 (埋立)	932
合計	4614

※二次処理先変更により前年度より割合が変動

総合計処分量	6,936
--------	-------

※発酵処分により重量減少

2018年度リサイクル率	79.0%
--------------	-------

※算出方法: リサイクル (再資源化) + 司排出リサイクル処分量

総合計処分量

(2322+3175)

6936